

丸亀市教育委員会会議録

1 日 時 令和7年11月14日（金）
午後2時30分～午後4時00分
場 所 市役所3階 303会議室

2 出席委員

委 員	井 下 由 美
委 員	松 岡 舟
委 員	立 石 陽 志
委 員	久 保 博 紀
教育長	末 澤 康 彦

説明のため出席した者

協働推進部長	田 中 壽 紀
総務課長	土 井 節 子
学校教育課長	岩 井 俊 明
文化財保存活用課長	東 信 男
給食センター所長	小 松 昌 徳
子育て支援課長	窪 田 美 由 紀
まなび文化課副課長	林 弘 樹
スポーツ推進課副課長	丸 尾 泰 久
総務課副課長	後 藤 幸 功
学校教育課副課長	今 井 達 也
幼保運営課副課長	横 山 史 朗
丸亀城管理室長	大 林 隆 之
文化財保存活用課副課長	坂 田 憲 亮
文化財保存活用課担当長	谷 梢
スポーツ推進課主事	松 川 高 輔

書 記	総務課庶務担当長	小野佳代子
-----	----------	-------

3 傍 聴 なし

4 議 題

- 議案第 30 号 令和 7 年度教育委員会事務事業の点検・評価報告書（令和 4～6 年度事務事業）
について
- 議案第 31 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（令和 7 年度丸亀市一般会計補正予算（第 4 号））
- 議案第 32 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（丸亀市児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について）
- 議案第 33 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（丸亀市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について）
- 議案第 34 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（工事請負変更契約の締結について（丸亀市立城東小学校校舎改築工事））
- 議案第 35 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（工事請負変更契約の締結について（丸亀市立城東小学校校舎改築に伴う機械設備工事））
- 議案第 36 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（工事請負変更契約の締結について（丸亀市立城東小学校校舎改築に伴う電気設備工事））
- 議案第 37 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（工事請負変更契約の締結について（（仮称）丸亀市立城東こども園園舎新築に伴う電気設備工事））
- 議案第 38 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）
（工事請負契約の締結について（新第二学校給食センター整備運営事業に係る設計・建設業務請負契約））

5 報告事項

令和 8 年丸亀市二十歳の成人式の実施内容等について
教育委員会承認「共催・後援」の状況

6 会議録署名委員の選任

丸亀市教育委員会会議規則第 13 条第 3 項の規定に基づき、次の 2 名を会議録署名人に指名する。松岡舟委員、久保博紀委員。

丸亀市教育委員会会議規則第 11 条第 1 項ただし書に基づき、教育長が発議し、全委員の同意により、議案第 31 から議案第 38 号を非公開と決した。また、報告事項の審議後に非公開議事を行うことを委員全員了承した。

〔教育長〕

開会にあたり、昨今の状況、学校と地域ということで、このひと月の間に私が見て感じたことについて 3 点話をする。

まず 1 点目、地域の文化祭に訪れた。例えば、本島では、今年は島全体の文化祭として取り組んでおり、場所は少し違ったが、小中学校で学習発表会があった。本島っ子まつりという名前であった。人権劇、子どもたちと先生が協働した太鼓の演武があった。また広島では、今年再開校を受けて、島全体の文化祭も久しぶりに行われた。小中学校を交えて行われたが、小中学校の生徒は、総合的な学習の時間の発表で、島をいろいろな観点から調べていた。特に、島全体の文化祭を子どもたちが進行したり、司会をしたりしていた。どちらも子どもたちの表情が生き生きとしており、特に広島は再開して、順調に学校と地域の交流が進んでいるのを見て安心した。

飯野コミュニティでは、こども園から小中学校の作品展、また様々な出演があり、東中学校の生徒が合唱、吹奏楽、茶道で活躍をしていた。どの地域でも、地域の方々の温かなまなざし、大きな拍手や応援があり、子どもたちも励みになったと思う一方、地域の方々も笑顔が広がっていたと感じた。地域の中で子どもは育つ、学校と地域との関係の大切さを改めて感じた。

2 点目、地域に根ざした教育活動である。ふるさと学習で、今、中学生が丸亀城、中津万象園等を訪れている。小学校でも 1 学期を中心に本島に訪れたが、各小学校でも、また就学前の施設でも、地域に出かけたり、地域の方を招いたりして、文化や歴史や人について学んでいる。丸亀は非常にそういう面で、教材にも人にも恵まれていると感じている。

企業 P R 事業もあった。企業、事業所のブースを中学校 2 年生が回ったが、それも子どもたちにとって大きな学びになっている。地域に密着することの価値や意義は非常に大きいと思った。

3 点目、部活動地域展開が今、大きな課題となっている。地域の方々が、部活動指導員として徐々に入ってくれている。まなび文化課の方の文化の面でも、小中学校に地域の方が入って指導いただけるよう対応してくれている。12 月には南中に吹奏楽の方々が来ていただけると聞いている。それを見ながら感じたのは、スポーツや文化・芸術の機会を生徒にこれからも保障していくことは、非常に大事であると同時に、これからの少子化の状況を見通すと、部活動は

部活動、学校教育は学校教育、生涯学習は生涯学習、そういうような視点だけで見るということもなかなか難しいと感じている。地域づくり、その観点から、もう少し大きな視点で考えていかなければいけない。人づくり、まちづくり、それが実は学校教育の充実にも繋がっていくということを、このひと月で感じた。それぞれの担当部署や担当課の方にもお世話になりながら、また子どもたちを育てていければと考えている。

議案第 30 号 令和 7 年度教育委員会事務事業の点検・評価報告書（令和 4～6 年度事務事業）について

〔総務課長〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、令和 7 年度事務事業の点検・評価報告書（令和 4～6 年度事務事業）を別紙のとおり提出するものである。毎年、前年度の事務事業に関する点検評価報告を行っているが、今年度は第三次丸亀市総合計画への改定年度のため、第二次丸亀市総合計画後期基本計画の状況を総括し作成した報告書となっている。総合的かつ横断的観点から 5 段階評価し、課題や必要と思われる取り組み等について記載している。これらに加え、成果指標の推移等や主要な成果を参考に、学識経験者の方々にご意見をいただいたものである。

〔委員〕

11 ページの地域学校協働活動の推進のところで、地域コーディネーターの養成に継続して取り組んでいるとあるが、協働推進部の 1 次評価の中で、地域コーディネーターの養成後については、どのように進めていくのか、このコーディネーターの方々が今後どのように活動していくのかというところについて、少し聞かせていただきたい。

〔まなび文化課副課長〕

この地域コーディネーターの養成塾に関しては、令和 6 年度から地域での推薦ではなく、自ら応募した方々を対象として実施させていただいている。そこで、地域と繋がりのない方もご応募いただいている状況であり、地域のニーズとのマッチングを実施して、活動に参加できるような状態を今後継続して作っていかれたらと考えている。また、これまでフォローアップの研修等ができていないので、その辺も含めて実施していきたい。

〔教育長〕

個々の内容ではないが、例えば、学校教育課の教職員の働き方改革の推進の中で、時間外勤務時間削減率についての指標がある。これは 5 年間ということで、先ほどの総合教育会議の中でも出たのだが、時代がどんどん変わっていく中で、その指標が本当に狙うところに合うかと

というのは、とらえ方とか考え方でどんどん変化するということを感じた。

働き方改革というのは、2020年時点からまずは時間を減らそうということであったが、一方、今はそれだけでないということが言われている状況の中で、次に向けて指標の決め方は非常に難しいなと思うと同時に、どれだけこれを尊重しながらいくのかということも、考えていかなければいけないのかなと感じた。

この基本計画は大きな方向性で、非常に大事だと思うが、現実をしっかりと見ながら評価する、その評価の時点で、数値的なものをどう意味づけるか、どう価値づけるかというところをもって、評価していかなければいけないと感じた。

それぞれ指標を見ると、それに現されるように非常に努力されていると感じる一方、ここには現れないこともあるので、それが大きな目標に向かって、どういうふうになっているのかを同時に考えていかなければならないと感じた。

〔委員〕

各施策の指標というところで、目標の実現を図るために、それぞれ各課が施策を取り組んだ点検評価という位置付けだと思うが、毎年点検評価を積み重ねていく中で、施策への改善点も含めて検討されていると思う。その結果を踏まえて、例えば目標値である指標を見直すという営みは、現実的にはしているのか。それとも決めた時点から変わらず進められているのか。

〔総務課長〕

2020年からの目標値をその際に定めているので、進捗の過程で目標値を超えて達成できた場合には見直している。

〔委員〕

見直すというのは、目標数値を見直すのか、その項目を見直すのか。例えば、基本政策 24 のスポーツの振興の体育施設の利用者数などは、目標値が 63 万人、すでに 2023 年度において目標達成されている。この辺りはもうそのまま変わらず置いているということか。

〔協働推進部長〕

体育施設の利用者数についてであるが、ご指摘のとおり、目標値は超えている状況にある。ただ体育施設の場合、施設改修などが計画的に入るケースもあるので、その利用者数の変動も起きてくる。現状で言うと、飯山総合運動公園体育館がトイレの改修で休館しているような状況であるので、目標値がこの時点で超えていたから目標値をさらに上振れさせて修正したときに、今度また休館等の影響があつてその通りにならないというケースもあり、そういったことも踏まえて見直していくことになる。この期間内は、そういうこともあり、見直していなか

ったこともある。

〔委員〕

複数年度に跨るので、当初掲げた指標というのが適切かどうかは、施策に取り組み始めると到底実現不可能だということもあるだろうと思うし、すでに1年で達成するようなこともあるだろうと思う。しっかり現実を見定めながら、施策を実行するという意味では、こういう点検評価というのは大事な営みだと思うので、現実を踏まえながら、施策に反映していくという営みを引き続き続けていただけたらと思う。

〔教育長〕

学識経験者の方はそれぞれの経験、立場の方もいらっしゃる、外部の視点からご意見をいただくというのは、非常に我々にとっても大事だと思う。一方、時代や状況の変化というのを踏まえて、こちらもしっかりと、その方々にも市民の方々にも説明していくことが、この本来の目的ということから考えると、形式的にならないようにしていくことが大事なのかなと、内容どうかではなく、制度的なことで感じるころはある。

私は事務局の方々が一生懸命に仕事をされているというのがわかっているので、指標に表れない部分がたくさんある中で、これが本当に市教育委員会としてよりよい方向性に繋がっているのかということに、どこかで立ち返って評価していかなければならないと思う。5年間というのは結構変化が大きいので、そういう意識を持ちたいと思った。

〔委員〕

この評価についてはPDCAのサイクルとして、5年間で1つの項目を整理するという意味ではいいと思うが、評価のほとんどCで、Bが1個あるだけで、オーソドックスなところには納まっていると思う。そのような中で、丸亀市が大事にしているもの、教育委員会として子どもたちに対して大事なものがあると思うので、予算もしっかりとって、それに対する対策も教育委員会としてしっかりしてほしい。今、石垣プロジェクトもスタートしているので、今後もまた楽しみにしたいと思っている。

〔委員〕

アンケート結果や数字が目標値として定められていて、これは難しいと思った。学校が楽しいと感じる生徒の割合とか、地域の関わりがあると感じる児童生徒の割合というのも、子どもたちは授業がわかったから楽しいと答えてくれるかどうかはわからないし、仲のいい友達がいれば学校は楽しいわけで、なかなか目標値として設定するのは難しいと思った。この3年前の91.7%と今年の93.1%は何で増えたのかという疑問な部分もありつつ、増えたのはとってもい

いことなのだが、これを目標値にするのはなかなか難しいと思いながら見た。授業を何回やったというのはわかりやすいのだが、主観が入るからこの数字は評価としても難しいなと思った。

〔教育長〕

それだけに、実際その指標に現れてない部分も大事にしなければいけないと私も思う。指標ということの重要性、そこに現れてないことも含めて、大きな方向をしっかりと向いて取り組んでいくことが大事だと思う。皆さんが本当に一生懸命にされていることを踏まえて、意見を申し上げた。

教育長が各委員に諮り、原案どおり異議なしと決定

8 報告事項

令和 8 年丸亀市二十歳の成人式の実施内容等について

〔まなび文化課副課長〕

令和 8 年丸亀市二十歳の成人式について、9 月に実行委員会を立ち上げ、実施内容が決定したので、報告する。式典は、令和 8 年 1 月 11 日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにて、対象者 1042 名を迎えて開催する。

テーマは「丸亀からくれるただいま 未来へのいってきます」。これまで支えていただいた家族や地域への感謝を胸に、地域との繋がりを再確認し、丸亀らしさを感じながら、未来への希望を持って歩み出すという思いを込めている。内容は、式典のほか、本市からのメッセージ動画の上映、抽選会、記念写真撮影を予定している。これらを通じて、未来の夢や希望を目に決意する場とするとともに、これまでの学びや繋がりを振り返り、参加者同士の交流を深め、心に残る特別な一日となるよう企画している。

〔教育長〕

先日、実行委員会に出席させていただき、その時の話をいくつかの場所で話した。校長会や教頭会で、皆さんが育んでくださった子どもたちが、本当にたくましく、頼もしく育っているということを伝えた。そういう機会をいただいたことをありがたく思う。

〔委員〕

1 月 11 日、13 時 30 分から開式ということであるが、13 時 30 分から式典に即入るのか。それとも、去年までは南中の踊りの連が参加してくれて盛り上げてくれたが、それは 2 番のアトラクションのところで入るのか。

〔まなび文化課副課長〕

その段取りに関しては、まだ実行委員会で検討中であり、また報告する。

教育委員会承認「共催・後援」の状況

〔総務課副課長〕

今回報告の期間は令和 7 年 10 月 15 日から 11 月 4 日までで、後援申請が 14 件あり、芸術、文化又はスポーツの振興、社会教育の向上など市民福祉の増進に寄与すると認められることから 13 件を承認、1 件を不承認としている。

共催申請の 1 件は、No.07001「令和 7 年度丸亀市 PTA 連絡協議会合同研修会」で、丸亀市 PTA 連絡協議会と丸亀市、丸亀市教育委員会が共催で行う講演会で、「子どもの自分らしさを大切にする子育て・教育を考える～多様な性の視点から～」という演題で、令和 8 年 2 月 14 日に丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ミュージアムホールで行われる。入場は無料。

なお、不承認の 1 件は、「ワークショップコレクション ゲームプログラミング・お仕事編」で、みらいの学びフェスティバル実行委員会が主催するマネー教室で、金融教育については教育委員会が率先して推進するべきものではないとの判断から、教育委員会が後援を行うことが不適当なものとして不承認とした。

《関係者以外は退席する》

9 非公開審議の概要

議案第 33 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）

（丸亀市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について）

《非公開審議のため内容不記載》

議案第 31 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）

（令和 7 年度丸亀市一般会計補正予算（第 4 号））

《非公開審議のため内容不記載》

議案第 32 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）

（丸亀市児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について）

《非公開審議のため内容不記載》

議案第 34 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）

（工事請負変更契約の締結について（丸亀市立城東小学校校舎改築工事））

議案第 35 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について（意見聴取）

(工事請負変更契約の締結について(丸亀市立城東小学校校舎改築に伴う機械設備工事))

議案第 36 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について(意見聴取)

(工事請負変更契約の締結について(丸亀市立城東小学校校舎改築に伴う電気設備工事))

《非公開審議のため内容不記載》

議案第 37 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について(意見聴取)

(工事請負変更契約の締結について((仮称)丸亀市立城東こども園園舎新築に伴う電気設備工事))

《非公開審議のため内容不記載》

議案第 38 号 丸亀市議会 12 月定例会に提出する議案について(意見聴取)

(工事請負契約の締結について(新第二学校給食センター整備運営事業に係る設計・建設業務請負契約))

《非公開審議のため内容不記載》

9 閉会

午後 4 時 0 0 分